

宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)

宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)

J-SPARC : JAXA Space innovation through PARTnership and Co-creation

- ベンチャーを含む民間事業者等を主体とする事業を出口とした、技術開発・技術実証等を伴うパートナーシップ型の共創型プログラム
- 民間事業者等とJAXAがそれぞれの強み・リソース持ち寄り、新たな宇宙関連事業の創出へ
- 異分野融合等によるオープンイノベーションの取組により、宇宙分野に閉じることのない技術革新の実現へ

宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)

新たな宇宙関連事業を出口とした共創型研究開発プログラム

民間事業者等

(事業化に向けた
取組を先導)

パートナーシップ



(技術開発を先導)

コンセプト共創タイプ

事業共同検証タイプ

事業化

新しい宇宙関連事業の創出
(民間等主体で事業展開へ)

技術獲得

宇宙分野に閉じることのない
技術等の獲得



【参考】宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ (平成30年3月20日・内閣府、総務省、外務省、文科省、経産省)

4. 宇宙ベンチャーとJAXA等との人材交流を含めた技術協力

宇宙ベンチャー企業とJAXA等との出向等による人材交流を促進するとともに、事業化までをスコープとしたJAXAと民間企業とのパートナーシップ型の技術開発・実証を行う。

J-SPARCプログラムにおける2つのタイプ（コンセプト共創・事業共同実証）

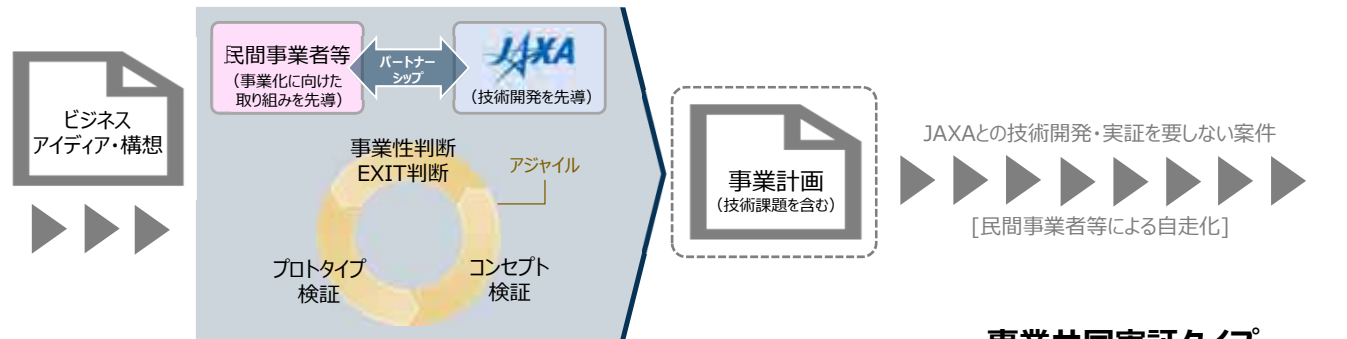
宇宙ビジネスを目指す民間事業者等とJAXAとの対話から始まり、事業化に向けた双方のコミットメントを得て、共同で事業コンセプト検討や出口志向の技術開発・実証等を行い、新しい事業を創出する共創型研究開発プログラム

民間資金等（リスクマネーなど含む）

JAXA資金（役割分担に基づく研究開発費など）

コンセプト共創タイプ

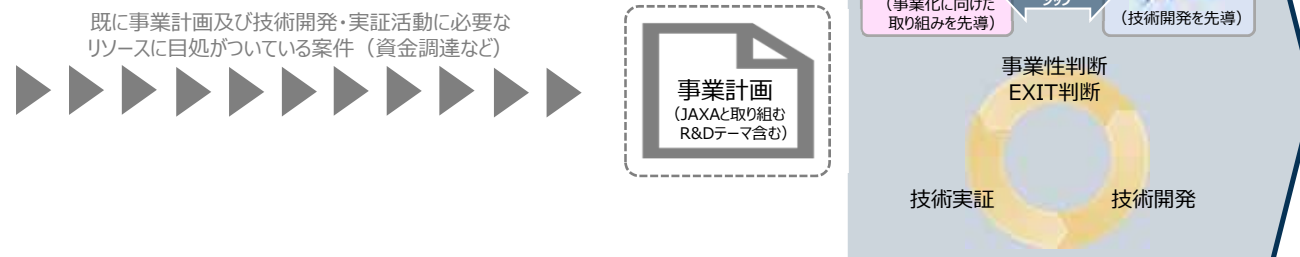
マーケット調査、事業コンセプト検討などの活動



J-SPARCが最終的に目指す姿

事業共同実証タイプ

事業化手前の共同フィジビリティスタディ、共同技術開発・実証などの活動



事業化促進に資する活動（異分野糾合のための場づくり・コミュニティ形成活動・新規マーケット創出活動など）

J-SPARCの共創プロジェクトについて

- ▶ 2018年5月の運用開始以降、約200件以上の問い合わせがあり、23件の共創プロジェクト等を実施。
- ▶ JAXAとの共創が契機となり、宇宙ベンチャー企業の新たな資金調達に繋がったほか、AVATAR（遠隔存在技術）や宇宙食料分野などでは多様な非宇宙系企業との連携による裾野拡大及び事業化を加速。
- ▶ 共創の結果、JAXAが取り組む官民プロジェクト等へ継承される案件や、民間による新サービスの市場投入に至る案件を創出。

	2019年3月時点	2020年1月時点
コンセプト共創	17 (15)	19 (16)
事業共同実証	0	1 (0)
その他活動	2 (2)	3 (2)

※カッコは公表件数、2020年件数は2018年からの累計。



[体制]

新事業促進部事業開発グループに、輸送・衛星・有人・探査・軌道上サービスなど各分野ごとに事業を創る、12名のJ-SPARCプロデューサーを配置。事業開発・IT領域・システムデザインの専門家等も社外からも招聘。

その他、各事業部門に所属する約150名の共創メンバーとともに、J-SPARCプログラムを推進中。